

5. 衣料用繊維品としての不織布の性質について

(第1報)

日本女子大 樋口ゆき子

石川ヤス子

1. 衣料ならびに工業用繊維品として近時、関心をもたれている不織布については、まだ製品となって日が浅いためその実用価値を判断するに十分な資料に欠けているのが現状である。そこで衣料分野に於ける用途の中でまず考えられる芯地としての立場からこれまでの織物を対象として、(1)原布の一般的性質・(2)耐薬品性・(3)耐洗濯性・(4)耐熱性などに就いて比較検討し、不織布の実用価値についての基礎資料を得る事を目的として本研究を行った。

2. 供試布は衣料用芯地として従来用いられてきた麻芯(100%)毛芯(100%)を対象資料として次の不織布についての種々な性能を測定した。パネロン(テترون100%, ナイロン70%, アセテート30%の三種)ナイロンペーパー(ナイロン100%)第1報としては原布の一般的性質について報告したい。

各供試布について引張強伸度・伸長弾性度・引裂強力・摩耗性・屈曲剛性度・ピリング・ドレープ性・耐燃性・通気性・保温性・防皺度などの物理的性質を比較検討した。

3. 使用目的に適する性能として強力・摩耗強力・防皺度・型くずれの少ない事・通気性・保温性をあげる事が出来た。その他寸法安定性が十分である事・ノンアイ

ロシ性である事・構造上から切り口が織物のようにホツ
レないので方向性をもたないという特性と共に実用上有
利な点である。問題点も二、三あるが衣料用繊維品とし
てかなり満足する性能をもっている事が解った。